



# 岳友

第  
76  
号

大分県山岳連盟

発行所：大分県山岳連盟事務局  
編集人：合澤 哲郎



## 1. あいさつ

大分県山岳連盟 会長 後藤 利雄

平成 25 年度を迎え、山岳会・また会員の皆様それぞれに、新たなる山行を考えていると思います。今年度も充実した登山の年になりますよう、お祈り申し上げます。

本年は大きな行事として、48 年振りに「全国高等学校総合体育大会第 57 回全国高等学校登山大会（インターハイ）」が 8 月 2 日（金）～6 日（火）に「くじゅう山系」で開催されます。高体連だけでなく各山岳会や高校登山部から多数の役員が参加します。また地元竹田市では会場の準備や登山道の整備（昨年の集中豪雨での崩壊復旧を含め）、登山道の草刈り等も影の力として、協力をいただいています。天候により状況も変わる大会です。周到な準備と、スムーズな運営で、全国から参加される選手、監督の皆さんに、くじゅうを満喫していただき、大分県の魅力が伝えられたらと思います。

2 月 5 日（火）の朝日新聞に『冬山遭難多発、規制が必要？』というタイトルで、「冬山遭難が相次いでいる。規制を求める声が、山岳界からも出始めた。長野・岐阜 死者不明もう 10 人。昨年 12 月からの冬山シーズンで登山者が集中する北アルプスの長野、岐阜両県の山岳遭難は計 21 件、28 人。死者・行方不明は計 10 名に達し、過去 5 シーズンと比べて最悪である。遭難の大きな理由は悪天候だが、登山者の体力や技術、経験の不足も目立つ。『富山 条例定め「素人」排除』富山県の北アルプスは冬の遭難が少ない。富山県登山届条例で積雪期登山を規制。2001 年度から 9 年連続、条例地区の冬山遭難はゼロだった。』との記事が掲載されました。日本の山岳界はもともと「登る自由を法律で規制するのは反対」という立場でした。しかし今、日本山岳協会の内藤順造副会長は「条例

の役割は大きい。経験のない登山者が入れない防波堤となっている」と発言しています。

各山岳会の会員には色々な登山の目的を持つ人が居ると思いますが、登山は自己責任が基本です。冬山に行かないから必要ないのではなく、夏山でも道迷いや凍死もあります。登山するには登山の知識、用具の知識、体力、登山技術の研修や登山の経験が必要です。山行途中での研修または講習会等を通しての技術の継承を十分にやっていただきたいと考えます。岳連では、登山技術の研修として昨年 8 月に沢登り（尾平）、10 月に岩登り（佐伯市本庄）、氷雪技術は（宮崎県大崩山）で実施しました。参加者はやや固定化した感があります。各山岳会の新人の多数の参加をお願いします。

岳連内では、「各山岳会は今までのような単独山岳会だけで行う山行だけではなく、二、三の山岳会合同の山行も時にはやるとよいのではないか、会の交流や登山知識、技術の交流も計れて、勉強になるのでは」との意見も出ています。近場の山行だけでなく、中央の北アルプス等の山行にも「合同山行」でぜひやって欲しいものです。また「登山の基礎の基の坐学」も新人会員には必要ではないかと思えます。

万が一の遭難に対して山岳保険へは加入するべきだと考えます。「日本山岳協会山岳共済会の山岳保険」は他の山岳保険より安く、有利な保険内容になっていると思います。安全登山の裏打ちとして、ご加入をお願いします。

あいさつ 1

平成 25 年度  
全国高等学校体育大会  
全国高等学校登山大会  
2～3

第 67 回国民体育大会  
山岳競技報告 4

平成 24 年度事業報告 5

〃事業報告(続き) 6

平成 25 年度事業計画 7

理事長より  
編集後記 8



平成 25 年度全国高等学校総合体育大会 第 57 回全国高等学校登山大会 くじゅう山系で開催！

標記大会が平成 25 年 8 月 2 日(金)～6 日(火)にくじゅう山系で開催されます。

		A隊(男子団体)	B隊(女子団体)
8 月 2 日 (金)	開会式	大分県立竹田高等学校 体育館	
	移動	開会式会場＝幕营地	
	宿泊地	直入総合運動公園幕营地	
8 月 3 日 (土)	コース	直入総合運動公園幕营地 = レゾネイト 駐車場－朽網分かれ－鍋割坂－佐渡窪 －鉢立峠－白口岳－稲星山－中岳－池 の小屋－神明水－南登山道－南登山口 ＝ 直入総合運動公園幕营地	直入総合運動公園幕营地 = 赤川登山 口－赤川登山道－久住山－久住わかれ －西千里浜－扇ヶ鼻－岩井川岳分岐－ 九州横断道路 = 直入総合運動公園幕 营地
	宿泊地	直入総合運動公園幕营地	
8 月 4 日 (日)	コース	直入総合運動公園幕营地 = 赤川登山 口－赤川登山道－久住山－久住わかれ －西千里浜－扇ヶ鼻－岩井川岳分岐－ 九州横断道路 = 直入総合運動公園幕 营地	直入総合運動公園幕营地 = レゾネイト 駐車場…朽網分かれ…鍋割坂…佐渡窪 …鉢立峠…白口岳…稲星山…中岳…池 の小屋…神明水…南登山道…南登山口 ＝ 直入総合運動公園幕营地
	宿泊地	直入総合運動公園幕营地	
8 月 5 日 (月)	コース	直入総合運動公園幕营地 = 岳麓寺… 柳ヶ水…鳥居窪…大船山…鳥居窪…入 山公廟…柳ヶ水…岳麓寺 = 宿舎	直入総合運動公園幕营地 = 岳麓寺… 柳ヶ水…鳥居窪…大船山…鳥居窪…入 山公廟…柳ヶ水…岳麓寺 = 宿舎
	宿泊地	宿 舎	
6 日 (火)	移動	宿舎 = 閉会式会場	
	閉会式	大分県立竹田高等学校 体育館	

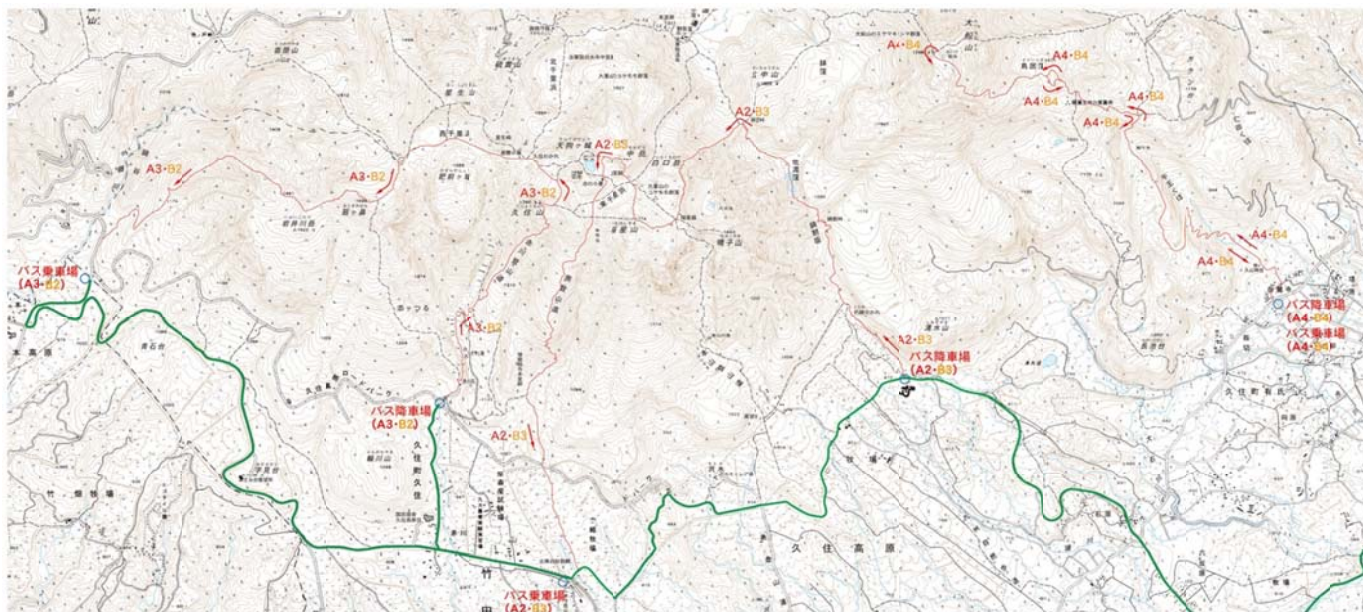


第57回大分大会ポスター



昨年度 第56回新潟大会 開会式

全国 47 都道府県から男・女、各 1 パーティー（監督 1 名・選手 4 名）約 235 名が竹田市に集い、くじゅう山系（久住山、中岳、大船山）を舞台に 4 泊 5 日の熱い戦いを繰り広げます。



■大会3コース(久住山, 中岳, 大船山)ルート





地元の竹田山岳会をはじめとする大分県山岳連盟加盟山岳会の方々が、大会を支える行動役員として参加します。先日、3月16日、17日に第1回の役員研修会が久住スポーツ研修センターおよび大船山で実施され、登山行動3日目に行われるチーム行動の確認や選手の安全について研修しました。次回、第2回の役員研修会は5月3日～5日に久住山、中岳コースを中心に実施されます。



■大船山直下で、選手・役員の間行動を確認（3月17日 第1回役員研修会）

また、8月実施の大会ということで、中岳コースの下山ルートである南登山道では雑草が生い茂り、足が見えず選手に転倒の恐れがあると危惧しています。選手の安全確保の為、草刈りをはじめとするコース整備のご協力を各山岳会をお願いする機会が有り得るかと思いますので、その節はよろしくお願いたします。

吹きおたれ  
若人の風 北部九州へ

### 第9回全国高等学校登山大会 大分大会（久住山・祖母山）の資料発見

本年度実施の高校総体登山大会は大分県開催としては48年ぶりの2回目になります。前回は昭和40年（1965年）に久住山、祖母山での開催でした。山岳連盟加盟山岳会の皆様の中には昭和40年に役員として参加された方もおられるのではないのでしょうか？今回、登山大会を取材する中で、竹田市役所荻町公民館が保存していた「創観新聞」上で当時の記事を発見しましたので紹介いたします。



この割当外に役員監督二〇〇人 総合計一、一〇〇人の予定



### 全国高校登山大会

### 緒方で開会 竹田で閉会

八月五日から九日まで

昭和四十年全南高等学校総合体育大会、第九回全国高等学校登山大会の実施要項は次の通り。

- ◎主催 全国高体連盟、大分県、県教委、竹田市、緒方町、三重町、久住町各教育委員会。
- ◎後援 文部省、日本放送協会、日本山岳連盟、大分県山岳連盟、竹田市、緒方町、三重町、久住町。
- ◎主管 大分県高等学校体育連盟。
- ◎期日 八月五日から九日まで。
- ◎会場 祖母・嶺山群、久住・大船山群（此内三山には必ず登る）。
- ◎実施日程 四日と八日は各々宿泊された旅館に宿泊。
- 竹田市五〇〇人、三重町一〇〇人。

### 登山大会の写真説明

▼トップ写真は八月五日緒方駅前 旗々宣誓を行つてゐる光景。方から登山隊全員の市中行進をなす。この時は小雨が降り風もかなりし、緒方町役場前に到着して開会式が始つたが、選手団の態度はまじ式場に入場するのを待つてゐる光景と立派であつた。

▼中央の大型写真は大会の最終日、先頭は選手団で次が山形県、宮城県の選手団。選管は町の中心九日前前十時、竹田市竹田商業高校グラウンドで開会式を開いた際、街駅前通り。

▼次は緒方工業高校グラウンドに於ける開会式。警察と列んだプラカートを掲げた選手団代表、トダール、色取々の各県団旗と大分県白桦商校、一年生久松、枝巻選手団が纏に包まれ、山の若者達が大会参加者にかこまれ、正々に別れを告げる式典は豪華げに

- この割当外に役員監督二〇〇人 総合計一、一〇〇人の予定
- ◎開会式 五日一〇時一十二時
- ◎閉会式 九日九時一〇時
- 会場は竹田商業高等学校
- ◎行動開始 五日三時バスにて緒方町を出発して各設置地に行く
- △Aコース 二〇〇人 上細 尾平 祖母山 神原 南登山口 久住山 坊つる 大船山 千人塚 竹田 宿泊
- △Bコース 二〇〇人 久部 大白谷 嶺山 九折 上細 尾平 祖母山 神原 南登山口 久住山 坊つる 大船山 千人塚 竹田 宿泊
- △Cコース 二〇〇人 南登山口 久住山 坊つる 神原 祖母山 尾平 上細 九折 嶺山 大白谷 二重宿泊
- △Dコース 女子 二〇〇人 南登山口 牧ノ戸 久住山 坊つる 大船山 千人塚 神原 祖母山 尾平 緒方 宿泊
- ◎参加人員 生徒四名監督一名をもつて一組とする。各県共に男子一組、女子一組、計二組とする。



■『創観新聞』昭和40年8月10日記事





## 第67回国民体育大会（ぎふ清流国体）山岳競技 報告

昨年、9月29日(土)～10月2日(火)に岐阜県岐阜市文化センターにおいて第67回国民体育大会山岳競技が開催され、大分県からは成年男子（監督：清水哲，選手：荒巻泰裕，一宮大介），少年男子（監督：合澤哲郎，選手：島田蒼也，原田隆弘）が出場しました。

9月29日(土)13:00より岐阜メモリアルセンター長良川補助競技場において総合開会式実施。他競技出場の選手とともに「チーム大分」として参加。入場行進後の開会式の中で圧巻だったのは、競技場上空に現れた航空自衛隊の戦闘機による応援デモンストレーション！

9月30日(日)、成年男子はボルダリング予選。予選通過の8位入賞を目指して4つの課題にチャレンジ。ここで素晴らしい登りを見せたのが一宮選手！！日本クライミング界の著名な選手をも寄せ付けない第2課題を見事3回目のアタンプで完登！！（第2課題を完登できたのは94選手中4名のみ）個人成績も4位と気を吐き、一躍注目を浴びる選手の仲間入り。少年男子は、台風接近の影響で予選を省略してのリード競技一発決勝。九州ブロック予選1位通過の実績を持って頑張ったのですが（壁やムーブがマッチしなかったのか？）13位で終了。

10月1日(月)、少年男子は悲願の決勝進出を期してのボルダリング予選。島田選手が4課題を3完登するものの残念ながら第2課題を落とせず、無念の予選10位。成年男子はリード予選で決勝進出を賭けて渾身のクライミング。左壁を登る荒巻選手は順調に高度を稼ぐものの37手目が保持できず無念のフォール。右壁を登る一宮選手は終了点直前の悪いホールドにも耐え、これをしっかりと保持し見事に完登！（完登は94選手中14選手）ボルダリングに続き全国トップレベルの登りを見せました。しかし、それでも決勝進出は果たせず、国体に出場する成年男子選手のレベルの高さ、層の厚さを改めて感じる結果となりました。

健闘した大分県選手ですが、残念ながら今年度は決勝進出を果たせず、入賞・競技得点獲得ができませんでした。しかしながら、一宮選手の活躍をはじめとして新たな世代のクライマーの実力は明らかに向上しています。今年度の東京国体での大分県選手の活躍に期待が持てる、「ぎふ清流国体」山岳競技でした。

※成年男子監督の清水氏は今回が国体監督デビュー。同世代の選手とともに活躍しました。

### ～第67回国民体育大会「ぎふ清流国体」報告～

2012年9月30日～10月2日に行われた第67回国民体育大会「ぎふ清流国体」に参加してきました。

成年男子の監督として参加したのは初めてで、右も左もわからず緊張しっぱなしの3日間になりました。

大会期間中丁度よい(?)タイミングで台風が通過、私自身の心境(主に頭の中が大荒れの模様)を天候が察してくれたようです...

さて競技の結果はというと

* リード	成年男子 10位	少年男子 13位
* ボルダリング	成年男子 13位	少年男子 10位

たいへん健闘しました。

が、予選突破まであと一歩のところだったという事もあり少し悔やまれる部分もありました。

来年は予選突破を目標に頑張りたいと思います。

### ～今年度 - 来年度に向け～

今年度より国体 成年男子監督をやらせてもらうことになり、1年を振り返ってみると本当に色々なことがありました。

主に失敗に次ぐ失敗の連続(汗) 選手及び関係者の皆様にはたくさんの迷惑をおかけしました...(+ω・;)

自覚が足りなかったのだらうと、反省の一言しかありません↓↓

来年度はこの失敗を生かし自覚を持ってがんばる！

...これが私個人1番の目標であります(・ω・)

大分県国体成年男子監督 清水 哲



■開会式会場での少年男子選手



■第1課題も一撃完登の一宮選手



■岐阜市文化センターに設置されたリード壁



■成年男子（清水監督・一宮選手・荒巻選手）



■少年男子（島田選手・原田選手）



## 平成24年度事業報告

**1 総務**

- ・総務 登録事務（18団体）
- ・広報 23.4.6 機関紙「岳友第75号」発行
- ・会計 (別紙)
- ・県体 23.9.9～10 第65回県民体育大会（白杵市鎮南山系）  
男女総合 1位 大分市 2位 白杵市 3位 日田市  
来年度は 竹田市（くじゅう山系、総合運動公園幕営）
- ・岳連会議  
評議員会 24.4.7（土）  
理事会 第1回 25.4.7（土） 第2回 24.6.23（土） 第3回 24.3.23（土）  
常任理事会 第1回 24.4.7（土） 第2回 24.5.13（日） 第3回 24.6.10（日） 第4回 24.7.1（日）  
第5回 24.8.5（日） 第6回 24.9.2（日） 第7回 24.10.8（日） 第8回 24.11.4（日）  
第9回 24.12.8（日） 第10回 25.2.3（日） 第10回 25.3.3（日）
- ・忘年会 24.12.8 21名参加

**2 指導・普及**

- ・指導 24.8.18～19 沢登り講習会（登山祭を兼ねる）（秋霧谷）33名参加  
24.10.7 岩登技術講習会（本匠井上タワー周辺）26名参加  
25.1.27 氷雪技術講習会（宮崎宇土内谷）18名参加
- ・海外登山 24.6.23 海外登山研修会 中止
- ・遭難救助対策  
24.8.18～19 沢登り講習会（登山祭を兼ねる）（秋霧谷）33名参加  
24.10.7 岩登技術講習会（本匠井上タワー周辺）26名参加  
25.1.27 氷雪技術講習会（宮崎宇土内谷）18名参加
- ・登山教室 24.5.20 第55回県民登山教室（長崎雲仙）22名参加  
24.11.11 第56回県民登山教室（宮崎韓国岳）35名参加  
25.2.3 第39回県民冬山登山教室（久住山）27名参加
- ・自然保護 24.10.13 登山道整備（南登山道整備）17名参加
- ・その他

**3 競技**

- ・国体 24.5.13 第67回回岐阜国体二次予選（県立総合体育館）  
24.6.9～10 第67回岐阜国体リハーサル大会（岐阜県岐阜市）※第26回リードジャパンカップ大会  
24.7.20～22 第32回国体九州ブロック大会（沖縄県那覇市）〈審判：原、後藤信〉  
成年女子4位 少年男子1位（本国体へ） 少年女子4位  
24.9.30～10.2 第67回岐阜国体（岐阜県岐阜市）  
〈成男〉監督：清水哲（大分キョウ）、選手：一宮大介（大阪経済大）、荒巻泰裕（關東学院大）  
〈少男〉監督：合澤哲郎（竹田高）、選手：島田蒼也（竹田高）、原田隆弘（竹田高）  
成年男子 リード競技10位 ボルダリング競技13位  
少年男子 リード競技13位 ボルダリング競技10位  
24.11.11 第68回東京国体一次予選（竹田高校）
- ・クライミング競技会  
24.4.21 第12回九州ブロックスポーツクライミングジュニア選手権（鹿児島市）  
男子2位 島田（竹田高） 5位 後藤（竹田高） 女子4位 一宮（竹田高）  
24.5.19 第7回アクションカップ（福岡） 3位 島田（竹田高）  
24.6.9～10 第26回リード・ジャパンカップ（岐阜）  
24.7.11～13 アジアユース選手権（イラン） 男子ジュニア第3位 一宮（大阪経済大）  
24.8.14～16 第15回JOCジュニアオリンピックカップ（富山）5名参加 6位：島田（竹田高）



## 平成24年度事業報告(続き)

24. 9. 10～11 2012 シーハットカップ (長崎) エキスパートクラス 7位 島田 (竹田高)  
 24. 12. 22～23 第3回高校生クライミング全国大会 (埼玉) 男子団体 3位: 竹田高校  
 25. 2. 8 The North Face Cup 2012 (埼玉) 6位 一宮 (大阪経済)  
 25. 2. 23～24 第8回ボルダリングジャパンカップ (東京) 35位 荒巻 37位 一宮

### ・ジュニア育成・選手強化

24. 5月～ 9月 ジュニア育成事業「前期少年スポーツクライミング教室」 (大洲総合体育館ウォール)  
 ※ 参加者 16名 (指導者: 有墨、後藤信)  
 24. 10月～ 3月 ジュニア育成事業「後期少年スポーツクライミング教室」 (大洲総合体育館ウォール)  
 ※ 参加者 13名 (指導者: 有墨、後藤信)

### ・クライミング認定講習会・普及

24. 4. 21 第42回利用者認定講習会 (大洲総合体育館ウォール) 28名参加  
 24. 6. 2 第43回利用者認定講習会 (大洲総合体育館ウォール) 35名参加  
 24. 7. 28 第44回利用者認定講習会 (大洲総合体育館ウォール) 54名参加  
 24. 10. 13 第45回利用者認定講習会 (大洲総合体育館ウォール) 57名参加  
 24. 12. 3 第46回利用者認定講習会 (大洲総合体育館ウォール) 60名参加  
 25. 2. 9 第47回利用者認定講習会 (大洲総合体育館ウォール) 48名参加

### ・国体関係の会議・研修等

24. 5. 30 第1回競技別強化担当者会議 (大分市) (河野、合澤、瀧石)  
 24. 7. 3 九プロ結団壮行会・監督会議 (合澤、田北、河野)  
 24. 9. 19 国民体育大会結団壮行会・監督会議 (合澤、清水)  
 24. 11. 12 第2回競技別強化担当者会議 (大分市) (三城、河野、合澤、瀧石)  
 25. 3. 2～ 3 日山協競技委員会九州ブロック研修会 (福岡) (原)  
 25. 3. 14 競技力向上説明会 (瀧石)

## 4 指導委員会

- ・県民登山教室 (3回) への指導員の派遣

## 5 関連団体

- ・日山協関係  
 24. 4. 1 日山協競技委員総会 (東京) (瀧石)  
 24. 5. 20 日山協総会 (東京) (後藤)  
 24. 10. 27～29 第51回全日本登山体育大会 (福井県) 7名参加  
 25. 2. 17 日山協評議員会 (東京) (原)  
 25. 3. 10 日山協総会 (東京) (後藤)
- ・九山協関係  
 24. 4. 16 九山協総会 (鹿児島) (後藤、波多野)  
 24. 7. 20～22 第32回国体九州ブロック大会 (沖縄県那覇市)  
 24. 7. 21 九山協理事会 (那覇市) (後藤、原)
- ・県体協関係  
 24. 5. 15 県体協評議員会 (大分市) (波多野)  
 24. 5. 23 県山岳遭難対策協議会総会 (大分市) (後藤、原)  
 25. 3. 14 県体協評議員会 (大分市) (波多野)  
 25. 3. 15 全国高等学校総合体育大会大分県実行委員会第4回総会 (赤嶺、佐藤)

## 6 その他

- ・高体連関係  
 24. 5. 13 高校県体クライミング大会 (県立総合体育館)  
 24. 6. 2～ 4 第57回高等学校体育大会 (くじゅう山系)  
 男子 1位: 竹田高校 2位: 大分工業高校 女子 1位: 竹田高校  
 24. 7. 6～ 9 第54回全九州高等学校登山大会 (くじゅう山系)  
 男子 5位: 竹田高校 9位: 大分工業高校 女子 2位: 竹田高校  
 24. 8. 7～11 第55回全国高等学校登山大会 (新潟県苗場山系)  
 男子 竹田高校 21位 女子 竹田高校 17位 ※視察 (25年度インターハイに向けて) (石川、伊延)  
 24. 10. 27～29 高等学校新人登山大会 (くじゅう山系)  
 男子 1位: 竹田高校 2位: 大分工業高校 3位: 上野丘高校 女子 1位: 竹田高校  
 24. 11. 11 高校新人クライミング大会 (竹田高校)  
 25. 3. 16～17 安全対策会議 (インターハイ研修会) (くじゅう山系)

岳友		平成25年度(2013年度)事業計画		Page 7
総務・指導・普及・遭対・海外		国体・競技	指導委員会	日山協・九山協・その他
4月	(総務) 06日 評議員会 06日 第1回理事会 常任理事会 各種登録事務	(指導・普及・遭対・海外) 「岳友」発行 21日 清掃登山 (平治岳)	20日 第13回九州 ジュニア クライミング (福岡)	07日 日山協競技委員 総会(東京) 14日 九山協総会 九州岳人の集い (沖縄)
5月	12日 常任理事会	26日 第57回県民 登山教室 (阿蘇高岳)	12日 国体二次予選 (大洲総合体育館)	03~05日 高校総体 第2回安全対策会議 12日 高校県体 (クライミング) (大洲総合体育館) 26日 県体協評議員会 日山協総会(東京)
6月	09日 常任理事会 22日 第2回理事会	22日 海外登山研修会 22日 遭難救助隊総会	01~02日 東京国体 リハーサル大会 (東久留米市) ※兼リードジャパンカップ	01~03日 高校県体 (縦走 くじゅう山系) 01~03日 日山協 指導員総会 14~16日 高校総体 拡大事務局会議
7月	07日 常任理事会		19~21日 国体九州ブロック大会 (福岡)	05~08日 九州高校 登山大会(佐賀) 03~05日 高校総体 第4回安全対策会議 (福岡) 20日 九山協理事会 (福岡) 27日 総体登山道整備
8月	04日 常任理事会 17~18日 登山祭	12~14日 ジュニア登山 教室(くじゅう山系) 17~18日 遭難救助隊研修会 沢登り講習会	第16回 JOCジュニア オリンピック(富山)	01~06日 全国高校 登山大会(くじゅう山系)  日山協上級 講習会(セッター 富山)
9月	01日 常任理事会 07~08日 第66回県民 体育大会 (竹田市・くじゅう山系)			14~16日 日山協 自然保護委員総会 (埼玉)
10月	06日 常任理事会	06日 遭難救助隊研修会 岩登り講習会 (本匠) 12日 清掃登山 (くじゅうの山に感謝する会)	04~06日 第68回 東京国体 (東久留米市)	26~28日 高校新人 大会(縦走:国東)
11月	04日 常任理事会	17日 第58回県民登山 教室	11日 東京国体一次 予選 (竹田高校)	08~10日 第52回 全国日本登山体育大会 (茨城筑波山地) 10日 高校新人大会 (クライミング:竹田高校)
12月	01日 常任理事会		第4回 高校生クライミング 全国大会 (埼玉)	07~08日 高体連九州 顧問研修会(別府)
1月	05日 常任理事会	26日 氷雪技術講習会 (宮崎宇土内谷) 遭難救助隊研修会 (氷雪)		
2月	02日 常任理事会	02日 第40回 県民冬山登山教室		16日 日山協評議員会
3月	02日 常任理事会 22日 第3回理事会			九州ブロック研修会 (福岡) 日山協総会 県体協評議員会
年間		機関紙「岳友」発行 ジュニア登山教室	ジュニア育成 「少年スポーツクライミング 教室」(前期・後期) クライミング利用者認定 講習会	登山教室等への 指導員派遣





## 理事長より

原 勇人

平成20年に竹田市で開催された大分国体から、早5年が経とうとしています。皆さんご存じのように、今年の8月くじゅう山系（主に竹田市側）を会場に第57回全国高等学校登山大会（インターハイ）が開催されます。役員をお引き受けいただいた山岳会員の皆様には、暑い中大変ご苦勞をお掛けしますが、一生懸命に頑張る若き岳人たちとともに大会を楽しむ余裕をもって臨んでいただければと願っています。選手はもちろん、役員にとっても心に残るよき大会となるようご支援ご協力を何卒よろしく願っています。

さて、次にクライミング競技における大分の若人の活躍を紹介します。



竹田高校山岳部OBの一宮大介くん（大阪経済大学）が、昨年7月、イランで開催されたアジアユース選手権に日本代表選手として出場し、ジュニアの部で見事3位に輝きました。高校生の頃から抜群の身体能力と集中力を発揮し、各種の国内大会で好成績を残してきましたが、初めての国際大会でメダルを獲得しました。

今後は、日本を代表するユースクライマーからワールドカップや世界選手権を目指すワールドクライマーへと成長し、大きな飛躍を遂げてもらいたいと心から願っています。



大分県山岳連盟 事務局

〒870-0952 大分市下郡北3丁目23-5

電話：097(567)3776

Fax：097(567)3776

E-mail：hayato.hara@nifty.com

大分県山岳連盟 HP

<http://www.oita-gakuren.org>

大分県山岳連盟ブログ

<http://oita-gakuren.sblo.jp/>

## 編集後記

広報担当 合澤 哲郎

「吹きわたれ 若人の風 北部九州へ」のスローガンのもと8月2日より「2013 未来をつなぐ北部九州総体」全国高等学校体育大会がくじゅう山系で開催されますが、その準備局（竹田市実行委員会事務局）は竹田市直入公民館内に設置され、赤嶺（豊嶺会）、合澤（高登研）を含む4名体制で準備を行っています。準備局では、全国約500名の高校生が集まる大会の安全を第1に考え、出場選手が「くじゅう山系に来て良かった！」と思える大会を目指して日々業務を行っています。理想とする「完璧な安心・安全の大会運営」を果たすには準備局の4名だけでは心もと無いのが本音です。成功の為には多くの方（特に大分県山岳連盟加盟山岳会の皆様）のご協力が必要です。是非とも各山岳会の皆様の協力をお願いいたします。また、登山大会は他の競技と異なり一般観客や応援者が少なく、盛り上がりにくい大会だという風評があります。各山岳会の皆様、どうか8月3日（土）、4日（日）にくじゅう山系に登られて、選手の応援をしていただきたいと思います。（日程は2ページ参照）

今回の「岳友」は高校総体登山大会が中心記事となりました。大分で48年ぶりの開催となる高校総体、是非とも成功させましょう。



平成25年度全国高等学校総合体育大会